令和３年度　放課後等デイサービス自己評価（職員）　　まとめ

① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

・充分な広さがある為、余裕をもって広く使えている。

② 職員の配置数は適切であるか

・その日の人数に応じての配置になっている。

③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか

・スロープもあり、バリアフリー化されているが廊下に物を置くことがないように気がけたい。

④ 業務改善を進めるためのＰＤＣＡサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか

・固定職員以外での参画ができていない事がある。

・全員ではできない事がある。その為、気になった事は伝えて職員で共有できるようにしている。

⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか

・保護者のアンケート結果を把握できるようにケース会で取り上げ改善点を話し合っている。

⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。

・ホームページで公開している。

⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか

⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか

・研修に参加した職員は参加していない職員にも職員会で報告をして研修内容を共有している。。

・各研修に参加している。

⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか

・サービス等利用計画や保護者への聞き取り、個別の状況を踏まえた上で作成できるようにしている。。

⑩ 子どもの適応行動を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか

・立案は個人で行うが、大きな差異がないように気掛けている。

⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか

・定期的に見直す事や新しい活動を心掛けている。

⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか

・平日は時間的に短い為、土曜、長期に取り組めるものとメリハリをつけている。

⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか

・個別支援計画に基づいて、集団の中でできる事、個別でしかできない事を考慮している。

⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか

・必ず打ち合わせはできない事もあるが、支援の内容は皆で把握できるようにしている。

⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日の行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか

・毎日ではないが、気付いた点は職員間で共有するようにしている。

・その日にできない事もある為、翌日に共有できるようにしている。

・週案の反省点に記入、共有できるようにしている。

・バス添乗等で時間が合わず、その日のうちに振り返りできない事もある。

⑰　日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

・記録をとることで振り返りができ、改善につながるようにしている。
・必要な事は備考欄に記入している。

⑱　定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか

・モニタリングの作成を行い、職員間で共有している。

⑲　ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか

・ガイドラインの内容把握に努め、支援を行えるようにしている。

⑳　障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか

・それぞれ担当者が参加出来るようにしている。

㉑　学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻等の確認）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか

・基本的な情報共有の他、必要に応じて電話対応を行っている。
・下校時刻の確認や送迎の際、何かあればその場で伝えてもらっている。

㉒　医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか

・病院より保護者を通して指示書を提出してもらい、看護師中心で行っている。

㉓　就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか

・支援会議や書類等で情報共有を行っている。

㉔　放課後等デイサービス事業所から、他の放課後等デイサービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか

・他の支援施設への移行支援の際等、担当者会議で情報を共有している。

㉕　児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか

㉖　他の放課後等デイサービス事業所との交流や活動する機会があるか

・同じ法人内の放デイとの交流を行っている。

㉗　（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか

・管理者が参加している。

㉘　日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

・連絡帳でのやり取りや必要に応じて電話対応、担当者会議を開いている。

㉙　保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか

㉚　運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

・運営規定は電話での説明になった為、不十分な説明になっているかもしれない。

㉛　保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか

・連絡帳への記入に対して必要に応じて電話対応をしている。

㉜　父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

㉝　子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

・契約書や玄関に貼ることで告知をしている。問題があった時は管理者に報告する事で対応している。

㉞　定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

・園だより、クラスだよりを発行、突発的な行事は連絡帳、電話等で発信している。。

㉟　個人情報に十分注意しているか

・委員会を設置している。

㊱　障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

㊲　事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

・今年度はコロナウイルスの為、出来ていない。

・コロナの影響もあり例年通り行えていない。

㊳　緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか

・保護者への周知（マニュアル面）が不十分。

㊴　非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか

・月１回の避難訓練の他、土砂災害、地震対応訓練を行っている。

㊵　虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

・虐待防止委員会を設置しており、常日頃意識できるように必要に応じて話し合う。

・虐待防止についての文章を掲示し、常に意識できるようにしている。

㊶　どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか

・座位保持の為に使う椅子等を使用する場合は保護者に説明の上、同意書を提出していただいている。

㊷　食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

・年度が変わる時に毎年医師からの指示書を提出してもらい、給食室、担任等関わる職員同士で確認をしている。毎日の給食、おやつの時に再度確認をしている。

㊸　ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか

・職員室に置いてあり、いつでも見られるようにしてある。ヒヤリハット記入後に職員同士での共有や回覧等で共有を図りたい。